

平成18年4月26日(水)
 愛知県地域振興部航空対策課 空港企画グループ
 担当 糟谷、川内線 2275、2285
 ダイヤルイン 052-954-6131

平成17年度における県営名古屋空港の利用状況

平成17年度における県営名古屋空港の利用状況をまとめましたので、お知らせします。開港1年を経過し、コンピューター航空路線の増加や、施設面の充実、バスによるアクセスの向上もあり、県営名古屋空港の利用実績は順調に推移しています。

県営名古屋空港平成17年度の主な動き

- 17. 8. 1 ビジネス機ターミナル完成
- 17.10. 1 熊本便新規開設
- 17.11.24 フィンガーコンコース完成
- 17.12.23 長崎便新規開設
- 18. 2. 1 中津川ーセントレア路線バスが県営名古屋空港にも停車開始
- 18. 2.17 県営名古屋空港開港1周年
- 18. 3.16 北九州便新規開設

1 コミューター航空旅客の状況

18.3.31 現在：1日あたり9路線20往復（開港時6路線13往復）

路線	平成17年度 〈17.4.1-18.3.31〉		前年度(平成16年度) 〈16.4.1-17.3.31〉		【便数】17年度/16年度
	旅客数	搭乗率%	旅客数	搭乗率%	
帯広	27,829	76.5	22,380	63.3	1往復/1往復
秋田	57,491	62.4	38,873	54.5	2往復(4月~9月は3往復)/2往復
山形	25,037	69.4	23,516	65.1	1往復/1往復
新潟	55,848	54.7	27,097	61.7	3往復/1往復
高知	61,574	58.7	51,343	56.3	3往復/3往復
松山	51,199	48.6	19,612	50.4	3往復 / 3往復(H16.11.1就航)
熊本	15,336	51.5	—	—	2往復 (H17.10.1就航)
長崎	7,255	36.7	—	—	2往復 (H17.12.23就航)
北九州	4,175	87.0	—	—	3往復 (H18.3.16就航)
合計	305,744	57.5	229,761	58.8	各年度における全路線の集計 *16年度分には、現在運航していない成田便、出雲便の数値を含む
(参考)	(227,779)	(61.3)	163,209	(58.7)	*16年度、17年度ともに年間を通じて就航した帯広、秋田、山形、新潟、高知路線の集計

○ 平成17年度における旅客数は、30万5,744人で、前年同期と比較すると、大幅な増加となっています。

○ 本年3月に就航した北九州路線では、平均搭乗率が80%を超えており、好調な滑り出しとなっています。

○ 昨年度に比べて路線・便数が充実してきたことに加え、バスによるアクセスの向上、フィンガーコンコースの設置による搭乗の利便性向上、駐車場が1週間無料で利用できることなどが広く認知されてきたことが、利用の増加につながったものと考えられます。



2 空港発着バスの利用状況（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

① 名古屋駅＝名古屋空港 直行バス（1日あたり：空港発20便、名古屋駅発23便）

行き先	乗車人数
県営空港 ⇒ 名古屋駅 (空港での乗車人数)	43,147 人
名古屋駅 ⇒ 県営空港 (空港での下車人数)	30,484 人
合 計	73,631 人



② 西春駅＝名古屋空港 路線バス
(1日あたり：36往復)

行き先	乗車人数
県営空港 ⇒ 西春方面 (空港での乗車人数)	44,312 人
西春方面 ⇒ 県営空港 (空港での下車人数)	42,166 人
合 計	86,478 人

③ 勝川駅＝名古屋空港 路線バス
(1日あたり：10往復)

行き先	乗車人数
県営空港 ⇒ 勝川方面 (空港での乗車人数)	9,716 人
勝川方面 ⇒ 県営空港 (空港での下車人数)	9,936 人
合 計	19,652 人

④ 中津川インター＝名古屋空港＝セントレア 空港バス（1日あたり：11往復）
*（平成18年2月1日～名古屋空港停車開始）

行き先	乗降人数
中津川⇒県営空港⇒セントレア方面 (県営空港での乗降人数)	727 人
セントレア⇒県営空港⇒中津川方面 (県営空港での乗降人数)	1,057 人
合 計	1,784 人

- 名古屋駅前との直行バスは、通勤者発着便にあわせて便数も増加されたほか、所要時間の短縮や、利用者の多い時間帯には大型バスを使用するなどの改善も図られ、旅客の主要なアクセス手段となっています。（3月には、利用者数は8,000人を越えました。）
- 平成18年2月には、中津川とセントレア間を結ぶバスが名古屋空港に停車するようになり、東濃およびセントレアから県営名古屋空港へのアクセスも便利になりました。

3 駐車場の利用状況（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

期 間	利用台数※		内訳		通勤者	航空旅客	31,709 台
17/4/1～18/3/31	71,899 台		通勤者		旅客以外		40,190 台
通勤者 航空旅客の 月別利用台数 ()は1日平均	4月 (30日間)	5月 (31日間)	6月 (30日間)	7月 (31日間)	8月 (31日間)	9月 (30日間)	10月 (31日間)
	2,235 台 (75 台)	2,526 台 (82 台)	2,543 台 (85 台)	2,598 台 (84 台)	2,669 台 (86 台)	2,584 台 (86 台)	2,722 台 (88 台)
	11月 (30日間)	12月 (31日間)	1月 (31日間)	2月 (28日間)	3月 (31日間)	合計 (365日間)	
	2,768 台 (92 台)	2,204 台 (71 台)	2,805 台 (90 台)	2,461 台 (88 台)	3,594 台 (116 台)	31,709 台 (87 台)	

※県営名古屋空港駐車場の利用台数で、万博シャトルバスのパークアンドライド駐車場は含みません。

※（ ）は1日当りに入庫する平均台数を示しており、複数日駐車している車両を含んだ実際の駐車状況を示すものではありません。

- 航空旅客の利用者に対しては、1週間まで駐車場利用料金が無料となっていることもあり、利用者に対する利便性も周知されてきたものと思われます。



4 着陸回数（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

区 分	回 数
民間機	約15,760回
定期便	約5,310回
定期便以外	約10,450回
自衛隊機	約11,280回
計	約27,040回

※タッチアンドゴーなどの訓練飛行を含む。



5 国際ビジネス機の飛来状況（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

飛来機数		90機
内 訳	航空機の国籍	米国：57機、中国：10機、豪州：5機、バミューダ4機、 日本：5機、メキシコ2機、英国2機、ウクライナ1機、 イタリア1機、マレーシア1機、カナダ1機、ロシア1機
	月別の飛来機数	(平成17年) 4月：4機、5月：9機、6月：8機、 7月：7機、8月15機、9月9機 10月6機、11月：8機、12月8機、 (平成18年) 1月：3機、2月：7機、3月：6機

※ 国際運航が伴うものに限った機数で、国内運航のみのビジネス機は含まない。

- 国際ビジネス機の利用者からは、短い移動距離や専用ターミナルでの短時間の出入国審査などが高く評価されており、こうした県営名古屋空港の利便性の高さが利用者の中で認知されてきたことが、毎月のコンスタントな利用につながっているものと考えられます。
- 8月にはビジネス機ターミナルも完成し、一層快適にご利用いただいております。

